

令和5年度
事 業 計 画 書

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

事 業 方 針

令和4年度の車券売上高は、新型コロナウイルス感染症による影響があったものの、インターネット投票売上が増加し、前年同期比 115.2%（令和5年1月末現在）と平成26年度から9年連続で前年度を上回っている。

中期基本方針における当初売上目標額（1兆円）が令和4年度に達成される見込みであることから、売上目標が達成された後期に向け、施策の改正の検討を行う。

新型コロナウイルス感染症対策については、今後の国の方針を踏まえ、ウィズコロナを前提とした対策を検討し、適切に対応する。

なお、令和5年度は、以下の事項について重点的に取り組む。

- ◆ 現行の開催枠組での開催結果を検証の上、今後の開催枠組のあり方を検討し、売上・収益の増加を図る。
- ◆ プロモーション基本戦略に基づき、20歳代から40歳代の男性及びファミリー層をメインターゲットに、競輪の「スポーツ性」や「メジャー性」を伝えるCMを放送することで、競輪の魅力を発信する。
- ◆ 適正な委託料率のあり方について民間ポータル各社と継続的に協議を行い、関係性の再構築を図る。なお、レース映像については（株）ジャパン・サイクル・インフィニティ（J C I）が管理を適切に行うことで、映像の付加価値を一層高める。
- ◆ 令和4年3月に更新された「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」に基づき、公営競技4団体と連携し、効果的な施策を検討・実施することで、ギャンブル等依存症対策の着実な取り組みを進める。